

令和2年度愛媛県公立学校新規採用教職員への教育長メッセージ

〔令和2年4月1日〕

今年度、意欲と情熱に満ちた459名の皆さんを、新規採用教職員として愛媛の教育界に迎えられたことを、大変うれしく、そして、心強く思います。

皆さんの辞令書には、愛媛の教育界に新しい風を吹き込んでほしいと願う県民の期待や、子どもたちの健やかな成長と幸せを願う保護者や地域の方々の熱い思いが込められています。この辞令書の重みを、一人一人しっかりと感じていただきたいと思います。

これからの中学校生活で、子どもたちとのかけがえのない時間を共にする皆さんに与える影響はとても大きいものです。ぜひ、子どもたちに対する愛情、仕事に対する使命感や誇りを持ち続け、子どもたちと向き合う時間を大切にして、信頼関係を深めてください。また、皆さん自身も、子どもたちや先生方、保護者等との出会いを大切にして、愛媛の教職員として大きく成長してください。

さて、今年2月から新型コロナウィルス感染症の拡がりを受け、3月に入ってすぐ、県内の小中学校、県立学校が一斉臨時休業の措置を取りました。そのような中で行われた卒業式は、練習もままならず、規模が縮小されたものでしたが、各学校では、教職員がサプライズで歌を披露するなど卒業生を少しでも勇気付けようと工夫を凝らしていました。どんな状況下でも、子どもたちを中心に考え、心から大切にする姿勢は、昨年、日本で行われたラグビーのワールドカップでよく使われ、流行語大賞に選ばれた「ワンチーム」という言葉に相通じるものがあります。この「ワンチーム」という言葉には、チーム全員が勝利という目標を共有し、一人一人がチームのために自分の役割や責任を果たさなければ、強豪に勝てないという思いが込められていました。学校でも同様のことが言えます。特に、今回のように、未知の課題に直面したときこそ、「チーム学校」としての組織力が求められます。

教職員としての第一歩を踏み出した皆さんに、自分のもつ個性や強みを存分に発揮することはもちろん大切ですが、赴任した学校の目標を理解し、その達成に向け、「チーム学校」の一員として自分の役割や責任をしっかりと果たすことが、子どもたちを守り、育てることにつながることを忘れないでください。

これから長い教職員生活を充実したものとするためには、心身の健康が基盤となります。生活にゆとりをもち、自己研鑽に励んだり、自分の趣味に没頭したりすることは、皆さんの人間力を高め、豊かな人生を歩むことにつながります。皆さんに輝いてこそ、子どもたちも輝きます。先生が笑顔でいると、子どもたちも愛顔になります。皆さん一人一人がワーク・ライフ・バランスの視点を忘れず、子どもたちのよきモデルとなってください。

終わりに、皆さんと一緒に、子どもや保護者、地域の願い、時代の要請に応えられる教職員として活躍されることを期待しています。